

法面緑化工法 検討依頼書

平成 年 月 日
土木建材.com 経由

大阪府 S F 緑化工法協会 宛

株式会社 森組内

TEL/FAX 06-6201-0787

依頼者 所 属
TEL・FAX
住 所
担 当 者

下記現場に出現する裸地法面について自然復元緑化工法の検討を依頼し、
詳細版検討書：A4版冊子(約40ページ)
簡易版検討書：検討項目の概要と種子配合(A4版1～2枚)
を請求します。条件は 内にチェックした通りです。(不明の項目は想定記入)

検 討 条 件

1. 概要

工 事 名 ()
現場住所 () 発注元()
施工時期 () 年 () 月頃 未定(可能期で検討)
総 面 積 () m² 内今回対象面積() m²
最大法面 法長 () m () 段 延長 () m

2. 環境

周辺植生 自然林 常緑樹 落葉樹 常緑・落葉混交
雑木林 マツ林 竹林 草原
人口林(スギ、ヒノキ) その他()
周辺状況 山間 丘陵 近郊 田園 海岸 法規制地
出現現場 道路 治山砂防 ダム本体 原石山 用地開発 その他()
最大積雪 0 cm 30未満 30以上 標高()m
アメダスコード - 協会記入欄 - 平均気温・降水量No. 積雪深No.

3. 要望

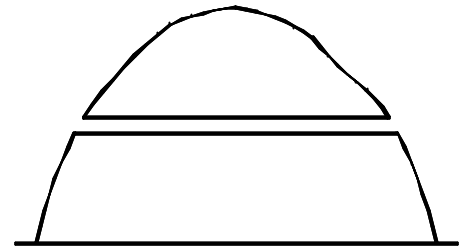
緑化達成期限 イベント開催など (年 月 日 ~ 年 月 日)
メンテナンス できない、しない(自然回復)
徹底管理(採種、散水、除草、追肥、追播、剪伐、除伐)(景観創造)
生態系早期回復 現地土壌微生物培養混入(E R 緑化工法併用)
検討方法 1つの代表的条件で検討
複数の異なる条件に分けて検討
緑化目標を複数提案

同一法面で条件が大きく異なり、複数の検討が必要な場合は、本葉のみ必要枚数をコピーし記入。

4. 概況

- 種類 盛土 切土 勾配1:() (空欄の場合 盛土1:1.5、切土1:0.8で検討)
- 地山 1、2、3は土壌硬度、4は亀裂間隔にチェックしてください。
- 1 土砂
 - 2 礫混じり土砂 玉石有 玉石上も緑化
 - 3 特殊地盤(マサ土、シラス、固結シルト、亀裂のない風化砂岩・泥岩・花崗岩等困難地)
土壌硬度 非常に柔らかい(10cm未満) 柔らかい(20以下) 普通(25以下)
(山中式土壌硬度計) 硬い(30以下) 非常に硬い(35以下)
 - 4 岩盤 亀裂間隔 10mm未満 10~30 30~50 50~100
土(岩)質 () 代表的な土質

法面の概略を右図に示してください。
または、別紙を添付してください。



- 特殊 湛水面
- モルタル 除去可(4, に記入) 搾孔処理可 補強法枠 要 不要
植生基材安定用構造物 設置可 全面 部分
- 法枠内 地山露出 ラス張 モルタル 搾孔処理可 スパン1.8以上
海岸砂丘 整形後安定 不安定 風 雨による自然崩壊
- 障害 ロックネット、樹木など 凹凸 30cm以上(繊維が浮く)
- 酸度 pH() (空欄の場合はpH7.0で検討) 方位()向き
- 風害 予想される 湧水 有

5. 植物 (現地条件により希望の型が不可の場合は最適型にて検討)

- | | | |
|--|--|--|
| <p>緑化目標 自然回復(管理なし)
自然環境によって変わる
出来形を受け入れる</p> | | <p>基本型：播種量を抑え周辺植生の進入促進
ハギ型：導入種により緑化促進
草本型：草本類により緑化促進</p> |
| <p>景観創造(設計・管理型)
設計通りの出来形を目指し、
採種、徹水、除草、追肥、
追播、剪抜、除抜を行う</p> | | <p>基本型：先駆樹として ハギ ヤシャロ
草本型：草原を維持
草花型：草花を維持
その他：別途検討</p> |

- 緑化方法 播種工 植栽併用 無播種
- 要望 特に要望があればチェックしてください。

- 郷土種 本体のみ 花 一年生草本 郷土草本
最下段・法尻は草本のみ

6. 写真 参考までに法面全景、接写を 郵送。